



環境報告書 2022

(2021 年度実績)












株式会社 駒井ハルテック





目次

-  経営理念 2
-  環境・品質方針 2
-  中期経営計画 3
-  環境マネジメントシステム 6
-  環境との調和 11
-  橋梁建設（架設）現場での環境に対する取組 18
-  地球温暖化防止への取組 22
-  環境製品への取組（実績紹介） 23
-  会社概要 24



富津工場



和歌山工場

※表紙写真： 大田静間道路 静間川橋（手延べ送り出し架設）



経営理念

『高い技術力で 夢のある社会づくりに貢献する』



環境・品質方針



基本理念

当社は、「高い技術力で、夢のある社会づくりに貢献する」との経営理念の下、以下の活動を通して社会的責任を果たす。

当社は、国民の生活基盤となる橋梁、鉄骨、風車などの製造、建設事業を通じて社会資本の整備に貢献しつつ、生産、建設過程における使用エネルギーや排出物（CO₂、産業廃棄物など）等の環境負荷要因の低減に取り組む。



方 針

1. 環境・品質マネジメントシステムの実効性を高める。
2. 「顧客満足」をいただける製品の提供とサービス向上に努める。
3. 環境負荷低減を目指した企業活動を展開する。
4. コンプライアンスおよび内部統制システムの成熟に努め、責任ある企業活動を展開する。



「中期経営計画2019」最終年度に当たり、新たな技術と事業への挑戦で社会と共に持続的成長

2021年度は、年度初めにおいては、新型コロナウイルス感染者数は減少傾向にありましたが、昨年7月からの第5波、また本年1月からの第6波の影響により、蔓延防止等重点措置の適用地域が全国に拡大し、個人消費の回復にブレーキがかかり、景気回復も足踏み状況が続きました。また新型コロナウイルスが収束しない中、本年2月にはロシアがウクライナに侵攻するという21世紀では考えられない事態が起これ、原材料や食料品などの高騰を招き、世界中が混乱する事態となっています。それに加え、地政学的リスクも高くなり、円安とも相俟って先行き不透明な状況が続いています。

そのような厳しい事業環境の年度でありましたが、当社グループが属する橋梁事業、鉄骨事業、環境事業について、まず橋梁事業は、総発注量は前年度をやや上回りましたが、発注金額ベースでは新設工事と大規模更新を含む維持補修工事がほぼ半々となり、各社とも工場操業を確保するために、新設工事においてさらに熾烈な受注競争が続きました。鉄骨事業は東京オリンピック・パラリンピックが1年延期となったことなどにより発注の狭間が長引きましたが、年度後半頃より首都圏を中心とする再開発事業が順次発注され、総発注量は前年度を上回りました。また、環境事業においてはSDGs、カーボンニュートラルの機運が高まる中、10月に第6次エネルギー基本計画が策定され、2040年までに浮体式を含めた洋上浮力発電により3千万～4千万キロワットの生産を目標として今後強力に事業が拡大される見込みとなっています。

2022年度は中期経営計画2019の最終年度であり、計画目標達成に向けてグループ一丸となって取り組む方針に変わりはありませんが、計画策定時に予測できなかった新型コロナウイルス蔓延やロシアのウクライナ侵攻とそれに伴う諸物価高騰など新たな課題も山積しており、それらへの対応を活動に織り込みつつ中期経営計画の達成を目指します。また当社は、本年4月からの東京証券取引所市場再編において適合計画書を提出することでプライム市場を選択しており、中期経営計画2019に加え、プライム市場適合計画を意識し、新たな課題にもチャレンジしてまいります。

当社の経営理念「高い技術力で夢のある社会づくりに貢献する」のもと、グループ一丸となり、技術力の向上を図るとともに、安全・安心を確保し、DX推進を加速し、働き方改革推進による職場環境、労働環境等のさらなる改善、人材育成等、従業員一人一人がやりがいを持てる「環境にやさしい企業体質」を構築することにより、社会貢献と顧客満足を目指してまいります。

取締役社長 中村 責任





中期経営計画2019の概要

本中期経営計画はテーマを「持続可能な社会の実現を目指し、健全な企業の成長を図る」とし、4つの基本方針及び事業方針に基づく具体的な施策に取り組み、目標達成を目指しています。

< 4つの基本方針 >

1. 持続可能な社会の実現とコーポレートガバナンスの充実
2. 継続的な成長と発展
3. 信頼されるサービスの提供と技術の開発
4. 働き方改革の推進

< 4つの事業方針 >

1. 橋梁事業は、総合力を高め、多様な構造物の受注確保と収益力の強化
2. 鉄骨事業は、技術力と顧客の信頼で受注拡大と収益力の強化
3. インフラ環境事業は、コスト競争力の強化と差別化によるチャレンジ
4. 内部統制の充実、働き方改革及び新規事業の開拓で人と企業の成長



中期経営計画の進捗

2022年3月期における売上高、営業利益は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響などにより、前年度から売上高は減少となりましたが、営業利益は増加となりました。計画の最終年度となる2022年度は具体的施策の実施を一層加速させ、受注の拡大および収益の改善へと繋げ、持続的に社会に貢献する企業を目指します。

<これまでの代表的な実施施策>

- ・ KHファシリテックの連結子会社化
- ・ 国土交通省の橋梁工事において高評価を頂き、受注競争力が強化
- ・ 首都圏の大型再開発関連工事、海外橋梁・鉄骨工事において、
鉄構、橋梁、海外事業の総合力を結集した生産体制で施工
- ・ 小規模補修～大規模更新工事を受注し、現場施工中
- ・ 陸上風車仕様のラインナップの充実に着手
- ・ 洋上風車タワープロジェクト室を新設
- ・ 富津工場で太陽光発電パネルの設置を決定
- ・ RPAを活用した働き方改革への取組み
- ・ ドローンを活用した現場測定の精度向上に向けた技術開発への取組み
- ・ VRを活用した特殊構造物の溶接施工性検証への取組み
- ・ 検査帳票作成の自動化への取組み
- ・ 若手育成に向けた「KH未来づくりプロジェクト」の立ち上げ
- ・ 広報活動の強化により継続的に新たな人材を確保

橋梁では新設橋梁の発注量減少、鉄骨では端境期の長期化による熾烈な受注競争、技能者・技術者不足、ロシア・ウクライナ情勢による材料費を始めとした建設コストの高騰など、予断を許さない状況が依然として続くと予想されます。このような社会の変化、厳しい事業環境に対し、中期経営計画の最終年度として、スピード感を持って対応できる体制で、様々な課題に対する具体的施策の取組みを推進します。



環境マネジメントシステム



会社年度方針（2021年度）

『スピード感を持った変革で成長軌道へ』

1. 社会的責任活動の推進 …E S G経営（環境・社会・企業統治）で求められる企業！
〔コンプライアンス、内部統制、SDGs〕
2. 営業力強化で安定受注と収益確保 …全社一丸で優位性を高めて受注拡大！
〔コスト競争力の強化、企業評価、経費削減、情報活用〕
3. 安全・品質意識の変革と技術力向上 …顧客の期待に応えるサービスの提供！
〔ゼロ災害、不具合撲滅、戦略的技術開発〕
4. 新たな環境に適応した働き方改革の加速 …D Xの積極的な取り組みによる業務改革！
〔デジタル化、データ活用、働き方の多様化、人材育成〕



環境年度目標（2021年度）

1. 環境負荷の低減
2. 環境側面管理（サイト環境側面管理表の履行管理）
3. 産業廃棄物排出量の削減目標値設定
4. ごみ減量(リデュース)の目標値設定
5. 地域貢献活動（地域交流、近隣清掃など）





環境マネジメントシステム



主要事業所（サイト）における環境マネジメントシステムへの取組

・富津工場

部門項目	具体的施策	結果
1. 環境負荷低減 ・電気使用量低減 原単位－2%/前々年度 ・環境MS, ESG, SDGsの理解を深め、活動意識向上を図る	・週単位の山積み調整 ・日々の場内作業を工数の動態管理で調整 ・水曜日定時の履行強化 ・事務所内エアコン、照明の未使用OFF継続 ・日中の場内照明消灯（雨天除く）	・原単位 前々年度比2.6%増
2. 環境側面管理（サイト環境側面管理表の履行管理） ・3R（リデュース、リユース、リサイクル）活動の継続的推進と履行管理 ・SDGs-7, 11, 12, 13, 17の活動項目分類を実施 ・グリーン購入の実践	・利用頻度の少ない場所の5Sパトロール ・不具合による廃棄物削減（品質パトロール） ・活動分類別に部門別活動報告を実施	・省エネ（5S）パトロールを月1回継続し、不要物処理が出来た ・不具合件数減少し、廃棄物及び手直しエネルギー削減した ・SDGs項目と活動内容の紐づけを実施
3. 産業廃棄物排出量の削減目標値設定 ・産業廃棄物発生量を生産量の1%以内	・産業廃棄物の有価物転換による産業廃棄物総排出量削減 ・TeKla連動の材料手配で余材抑制 ・中古ファイルの再利用活動の実施 ・古紙ダンボールのリサイクル活動強化	・産業廃棄物発生率1.5% ・品川築堤遺跡保存により計画変更でスクラップ発生
4. ごみ減量（リデュース）の目標値設定 ・古紙、ファイル等の事務用品再利用 ・リデュースの具体化、実行 ・廃棄物の分別表示の工夫 ・コピー機のカウンター管理 ・電子媒体利用した業務の推進 ・環境・省エネ委員会での活動報告および、継続的改善の実施	・キングファイルの再利用を全社に展開 ・文章管理システムの確実な運用を品質改善会議の席上で運用率、改善点を議論し各課内展開を実施 ・WEB会議利用促進により移動エネルギーによる環境負荷の低減を推進（客先定例、社内会議、製品検査に活用） ・各部門からの取り組み状況報告、活動実績共有	・ファイル類の再利用向上 ・コピー使用量は、昨年度より増加 ・文章管理システム運用率向上 ・会議でのタブレット使用率向上 ・環境、省エネ委員会を開催（6月、9月、12月、3月）
5. 地域貢献活動（地域交流、近隣清掃など） ・工場周辺清掃活動 ・青木地区自治会活動への参加	・工場全面道路、駐車場清掃活動 ・地域振興寄付、災害支援事業参加	・工場周辺清掃8月、11月実施 ・富津市「企業版ふるさと納税」贈呈式に出席 ・2019年台風被害災害支援事業の事務補助実施

・和歌山工場

部門項目	具体的施策	結果
1. 環境負荷の低減 ・小委員会を通じて意識向上・理解 ・各エネルギー使用量の管理・削減 原単位－2%/前々年度	・パトロールによる改善、無駄時間・工場費の削減意識よりエネルギー使用量減、エア漏れ修繕 ・地下埋設管の修繕を計画・立案実施	・原単位 前々年度比41.4%減
2. 環境側面管理（サイト環境側面管理表の履行管理） ・管理項目の履行と効果検証 *ピーク電力対策 *分別回収強化 *省エネパトロール実施 *グリーン購入・再利用 *不具合削減への取組み	・受電日誌にて確認・管理 ・小委員会にて報告、啓蒙 ・環境・省エネ小委員会等で啓蒙 ・業務課、製造課中心に選別購入実施・社内一括購入実施 ・事前図面回覧、品質管理検討会、工作会議等に対応	・ピーク電力超過無し ・啓蒙・指導・パトロール監視定期に実施 ・エコ商品購入実施 ・各種会議にて取組実施

3. 産業廃棄物排出量の削減目標値設定 前年比 -5% ・スクラップ移行で産業廃棄物排出量削減 ・古紙回収 ・分別の取組、徹底	・大規模な不要物撤去の実施し、加工+組立から排出された床砂をスクラップから産廃処理に変更（特化則対応）。 ・溶接ワイヤースプールを有価物処理契約実施	・前年比 47%
4. ごみ減量(リデュース)の目標値設定 リデュース(減量)への取組強化 ・電子化への推進 ・古紙回収 ・分別の取組、徹底	・各種回覧、配布資料を電子化 ・小委員会にて報告、削減への意識付けと取組実施 ・古切手回収後、郵便局へ返却等の対応 ・残業食はパンで継続中(次年度費用を検討)	・各種回覧物を電子化 ・古紙回収、排出量(カサ)の削減を取組実施
5. 地域貢献活動(地域交流、近隣清掃など) ・由良町古紙回収協力 ・地域清掃活動への参加	・古紙回収時期に合わせ準備を実施 ・企業版ふるさと納税を実施	・小・中学校の古紙回収協力 ・吹井地区清掃実施 ・企業版ふるさと納税を実施

・本社

部門項目	具体的施策	結果
1. 環境負荷の低減 ・原単位 -2%/前々年度 ・従業員の節電意識の向上 ・空調使用の削減 ・ドレスコードフリーの実施	・ガールーン・朝礼による啓蒙活動 *環境省エネ小委員会のアナウンス *WEB会議用モニターの電源管理 *空調の使用状況管理とアナウンス	・原単位 前々年度比 20.3%減
2. 環境側面管理(サイト環境側面管理表の履行管理) ・電気使用・廃棄物の状況把握 ・増減の要因分析のサイト内フィードバック	・環境省エネ小委員会での使用状況の確認と分析 ・ガールーン・朝礼による結果報告	・電気使用・廃棄物の状況とその分析結果のサイト内、周知実施。 ・廃棄物の増加原因をシュレッターごみと分析
4. ごみ減量(リデュース)の目標値設定 -2%/前々年度 ・従業員の廃棄物削減意識の向上 ・紙類のリサイクル徹底	・ガールーン・朝礼による啓蒙活動 *環境省エネ小委員会のアナウンス *マイカップ、コピー用紙リサイクル徹底呼びかけ *ゴミ箱、ゴミ分別表のリニューアル	前々年度比 8.8%減
5. 地域貢献活動(地域交流、近隣清掃など)	・台東区の清掃活動「大江戸清掃隊」へ参加	・毎月第3水曜日に社員持ち回りで活動実施 ・5月区全体活動はコロナ禍で中止

・本店

部門項目	具体的施策	結果
1. 環境負荷の低減 ・電力使用量 ・原単位 -2%/前々年度 ・原単位分母の適正化 ・ライトダウン自主実施 ・グリーン購入	・換気と室温の状況を監視し、換気をしながら室温20度基準で対応 ・モニター輝度40%を啓蒙 ・20時には完全消灯の取組を実施	・原単位 前々年度比 4.4%増 12月まで原単位削減できていたが、1月2月に空調温度増加のため、増加した ・6/21、7/7実施済
2. 環境側面管理(サイト環境側面管理表の履行管理) ・余剰購入防止(パイプファイル) ・文具の環境商品購入100%	・少額購入システムにより監視 少額購入システム導入の基準年として、環境製品購入の定着を確認できるよう運用スタート(CSVファイルで管理)	・パイプファイル新規購入ゼロにより達成 ・PPC(普通紙)環境商品購入100%達成、他文具も可能な限り購入

4. ごみ減量(リデュース)の目標値設定 ・コピー用紙の管理 前年度使用重量の-2%目標 ・ごみ減量 3R実施 「リサイクル」分別 「リユース」パイプファイル再利用	・少額購入システムにより監視 ・職場巡視パトロールを実施 ・テナントビルの清掃方針に合わせたごみの分別徹底 ・本店活動と3Rとの繋がり の明確化	・コピー紙12.5%減 消耗事務用品購入システム導入に伴い、最低購入ロットが小さくなり、常時、必要量の購入に切り替えた。また、タブレット端末の普及も進んだ ・分別表を更新して啓蒙 ・本店省エネ指針の周知
5. 地域貢献活動(地域交流、近隣清掃など) ・大阪マラソンクリーンUP作戦	・本店ビル周辺の清掃活動を実施	・2/24実施済

・大阪事業所

部門項目	具体的施策	結果
1. 環境負荷の低減 ・原単位 -2%/前々年度	・省エネ推進委員会(年6回)でエネルギー使用量と生産動向の比較分析・監視 ・換気励行による電気量増に対し、グリーンカーテン設置によるエアコン電力削減 ・省エネパトロールの実施(月1回)による省エネの徹底 ・事務所照明のLED化 ・ライトダウンキャンペーンへの参加	・原単位 前々年度比33.6%増 ・基準となっている2019年度以降、ブレード工場のエアコン設置の他冬場の電力消費増など、増加要因を推定。消費電力の削減のため、メーター設置追加を検討中 ・省エネパトロールは、毎月実施、結果は省エネ委員会で周知した ・事務所の照明設備を蛍光灯からLED灯具に更新(2021年12月)
2. 環境側面管理(サイト環境側面管理表の履行管理) ・廃紙、廃棄物、電気使用量の動態管理	・電気使用量を待機電力及び工場操業時間と比較分析 ・待機電力を加味した電気使用量データを蓄積	・廃紙、廃棄物、電気使用量の動態管理を行った ・電気使用量と工場操業時間の比較表を作成した
3. 産業廃棄物排出量の削減目標値設定 前々年度比-1%	・引き続き廃棄物の分別方法の見直しを行う	・24.0%削減
5. 地域貢献活動(地域交流、近隣清掃など)	・大阪マラソンクリーンアップ作戦への参加	・2月22日に大阪マラソン・びわ湖毎日マラソン統合大会クリーンUP作戦に参加し、周辺歩道部の美化活動に取り組んだ ・11月19日にグリーンカーテンの撤去を行い、同時に歩道部の美化活動にも取り組んだ

・テクニカルセンター

部門項目	具体的施策	結果
1. 環境負荷の低減 ・原単位 -2%/前々年度 ・従業員の節電意識の向上 ・空調使用の削減 ・ライトダウンキャンペーン(環境省)	・電気使用状況の報告(省エネ小委員会) ・継続的啓蒙活動 ・ライトダウンキャンペーンの自主継続	・原単位 前々年度比 3.5%減 第3Qまでは削減率2桁%台で推移、第4Qでは削減率3.5%とかなり消費電力が増加した。松戸TCの2階に大型エアコンを4台増設したことによるものと推測する ・ライトダウンキャンペーン7月の実施
2. 環境側面管理(サイト環境側面管理表の履行管理) ・省エネ小委員会の実施 ・省エネパトロールの実施 ・防災防火訓練の実施 ・BCP用発電機の試運転の実施	・環境側面の展開周知 ・持回りで各部署の環境パトロール実施 ・地震時出火の避難訓練・消火訓練実施 ・発動発電機の使い方を持ち回りで実施	・環境側面の理解 ・削減意識の向上 ・危機管理意識の向上 ・危機管理意識の向上

<p>4. ごみ減量(リデュース)の目標値設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット導入によるペーパーレス化 ・廃棄物の分別、リサイクル量報告 ・廃紙の有価物としての引き取り 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット使用の推奨 ・ゴミの分別、リサイクル量の報告(省エネ小委員会) ・廃コピーの状況報告(省エネ小委員会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の削減意識の向上 ・第2次松戸市地球温暖化対策事業(旧減CO2)を継続実施 ・廃棄物の分別実施、リサイクル量報告 ・換金化実施
<p>5. 地域貢献活動(地域交流、近隣清掃など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策地域推進計画 ・エコキャップ活動 ・職場見学・職場体験の受け入れ ・松戸TC周りの道路清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ・松戸市「地球温暖化対策地域推進計画」の対象項目に沿って取組み ・2月中旬エコキャップ回収・送付 ・地域交流会(地元小中学生の課外授業)の実施 ・松戸TC周りの道路清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ・予定通り参加、実施 ・予定通り実施(4,730個) ・コロナ禍、要請無く未実施 ・松戸市教育委員会に小中学校の体験学習、会社見学の受け入れ企業として登録 ・近隣清掃2回/年実施



環境との調和



富津工場



当社では、設置場所の気象、地形条件等にあった風力発電機の開発・生産に力を注いでいるところですが、継続的な研究・開発に資するとともに、2006年9月に1号機を、2014年2月に2号機を設置し、富津工場における橋梁・鉄骨の生産工程の電力源として、再生可能エネルギーを使用しています。



富津工場：風車1，2号機（奥が2号機）

富津工場における風力発電の概要

設置者	株式会社 駒井ハルテック	
設置場所	千葉県富津市新富（駒井ハルテック内）	
用途	工場用電源 および 売電	
風力発電機	1号機	2号機
定格出力	300KW × 2基	
運転風速	3 ~ 25m/秒	
稼働開始	2006年9月	2014年2月

2021年度 富津工場における風車による発電量

(単位：KWh)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1号機	40,989	47,801	15,610	20,258	28,096	28,727	30,018	39,691	44,864	32,105	34,812	39,046
2号機	38,848	41,942	14,480	19,678	34,374	18,843	19,942	29,588	20,240	23,767	29,574	8,039
合計	79,837	89,743	30,090	39,936	62,470	47,570	49,960	69,279	65,104	55,872	64,386	47,085

風力による発電量が、富津工場の全使用電力量に占める割合（風力発電寄与率）は、年間約14.3%となっています。

◎ 地域交流



富津工場が立地する千葉県富津市に対して、企業版ふるさと納税を活用した寄付を実施しました。この寄付は、同市の障害学習バス購入にあてられ、障害学習活動や子供達の体験活動などの充実化を支援しています。

また、長らくのコロナ禍で、学校行事が中止または延期となった富津市内の子供達（特に未就学児）に向けて、卒園を祝福し、悪疫退散の願いを込めて、打ち上げ花火を開催しました。この花火は、当社も会員の富津シティロータリークラブにおいて企画・運営され、計3回にわたって開催し、多くの子供達および保護者が観覧しました。

企業版ふるさと納税



卒園祝、悪疫退散祈願花火





和歌山工場



和歌山工場では、コロナの影響で、毎年恒例となった海岸清掃のボランティアが取りやめになりました。地域貢献のため、地区清掃を行いました。さらに、古紙回収運動にも参加して、地域に貢献しています。グリーンカーテンにも取り組みました。

◎ 地区清掃

(2021. 05. 30)



◎ 事務所グリーンカーテン

(2021. 07. 28)



◎ 海岸清掃「リフレッシュ瀬戸内」

2019年活動風景(コロナ禍で中止)



◎ 古紙回収：由良中学校(2021. 08. 01)



白崎小学校 (2021. 06. 27)

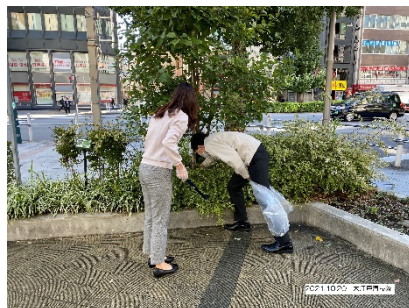


本社



本社では、台東区の清掃活動「大江戸清掃隊」に参加しています。新型コロナウイルス感染症の東京都内の感染拡大状況を見て是非検討をしつつも、結果的に毎月第3水曜日に社員持ち回りで実施となりました。また、ごみの分別の仕組みを整え、コピー用紙のリサイクル徹底の呼びかけや、紙コップに価格を明示し、マイカップ使用を推進するなどして、再利用や使用を減らす社員意識の向上を試みています。

大江戸清掃隊



ごみ分別





大阪事業所



大阪事業所では、環境省の呼びかけで始めた「CO2削減／ライトダウンキャンペーン」を自主的に継続するとともに、毎年恒例となっている「グリーンカーテン」を設置し、遮熱効果による空調機への負荷低減を図るなどして、夏期の電力使用量の削減に貢献しています。また、11月19日にグリーンカーテンの撤去を行い、同時に周辺道路の歩道部の美化活動にも取り組みました。

◎ グリーンカーテン



事務所 南西側



事務所 北東側



大阪本店・大阪事業所



本店・大阪事業所では、毎年参加している大阪市主催の「大阪マラソン“クリーンUP”作戦」に参加予定でしたが、2月24日、2月22日に大阪マラソン・びわ湖毎日マラソン統合大会クリーンUP作戦に参加し、周辺歩道部の美化活動に取り組みました。

・本店 (2022. 2. 24)



・大阪事業所 (2022. 2. 22)



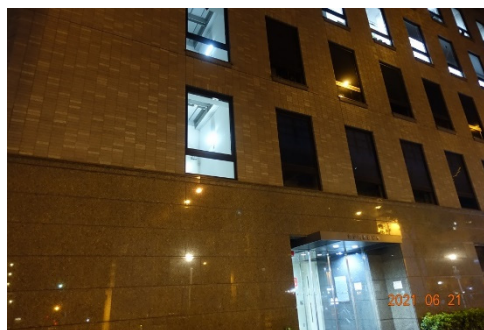


大阪本店・大阪事業所では、環境省の呼びかけで始めた「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」を、自主的に継続実施しました。

※ 環境省による呼びかけは2019年4月をもって終了となりました。

大阪本店ライトダウンクールアースデー (2021. 7. 7)

夏至 (2021. 6. 21)

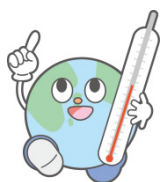


大阪事業所 ライトダウン (2021. 7. 7)



◎ 関西エコオフィス運動に参加


大阪本店、大阪事業所、和歌山工場は、運動の趣旨に賛同し「関西エコオフィス宣言事業所」に登録しています。



■ 「関西エコオフィス運動」

京都議定書を生んだ京都を有する関西が、全国に先駆け、地域全体が一致協力して、地球温暖化対策に取り組むことが責務であるとの認識のもと、身近なところからの省エネルギー等の取り組みを実施する事業所（オフィス）を募集し、地球温暖化防止活動の裾野を広げていく運動。



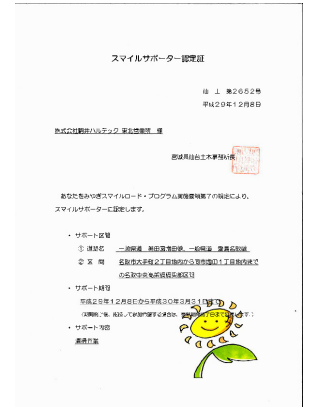
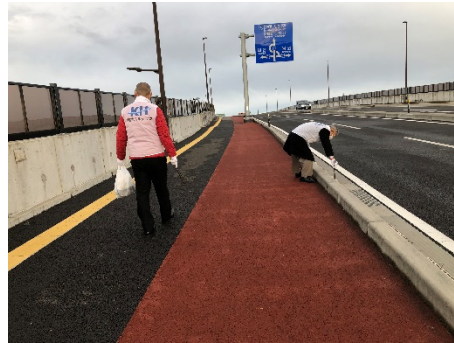
 東北営業所 (仙台)




東北営業所では、「名取中央高架橋上部工（床版工）工事」（宮城県仙台土木事務所）の完成後、2017年より「みやぎスマイルロード・プログラム」に参画し、スマイルサポーターとして名取中央高架橋の清掃活動に取り組んでいます（4回/年）。また、地域貢献として広瀬川一万人プロジェクトに協賛しており、2016年より広瀬川の清掃活動に取り組んでいます。（2回/年）

(2021. 6. 7)

(2021. 12. 17)



 テクニカルセンター

テクニカルセンターでは、松戸市が2009年3月に策定した「松戸市 減CO2（げんこつ）大作戦（松戸市地球温暖化対策地域推進計画）」に賛同し、2010年12月に「松戸市 減CO2（げんこつ）宣言事業所」として登録し、2011年5月には[AAA（最高ランク）]に昇格して、現在も活動を継続しています。



■ 松戸市 減CO2（げんこつ）大作戦（松戸市地球温暖化対策地域推進計画）が、2018年度から「第2次松戸市地球温暖化対策事業」としてリニューアル。テクニカルセンターも松戸市地球温暖化対策事業所として引き続き登録しました。



■ エコキャップ運動

エコキャップ運動の目的「リサイクルの促進、CO2の削減、売却益で発展途上国の医療支援、障がい者・高齢者雇用促進」に賛同し、ペットボトルのキャップの収集を行っています。

※ 今年度は4,730個（11.0kg）を集め、34.65kgのCO2の発生を抑えることが出来ました。

エコキャップ 受領書

株式会社南村ビルテック 御中
ID: 85989
ご住所: 千葉県松戸市松原404-1
FAX番号: 047-587-0249

2022/05/17
株式会社 エコキャップ推進協会
〒216-0024
千葉県松戸市松原404-1
TEL: 047-900-0294
FAX: 047-900-0295
http://ecocap.jp

今回受領個数: 4,730個	累計個数 (2022/02/17時点): 40,635個
受領日: 2022/02/17	数量: 11.0kg
数量: 11.0kg	換算CO2削減量: 4.730kg

ご提供いただいたエコキャップは再生プラスチック原料として供出し、医療支援や障がい者支援、子どもへの環境教育等、様々な社会貢献活動に役立てられています。
ご協力ありがとうございます。皆様のご厚意を大切に致します。

● 累計のエコキャップをゴミとして廃棄した場合はCO2の発生量 +297.68kg ※キャップ1kgは1kgのCO2削減します

第10期に新たにご参加いただいたエコーステーションをご紹介します

エコーステーションは、環境教育の活動の自給自足プラットフォームです。環境教育の活動の自給自足プラットフォームです。環境教育の活動の自給自足プラットフォームです。環境教育の活動の自給自足プラットフォームです。

理事長 藤田きまより
エコキャップは回収することからすでに社会とつながっています。特別に「Fun to Share」は環境と社会をつなぐ活動です。その力を生かすことによって障がい者も雇用できる仕事になります。

全文は、エコキャップ推進協会ホームページをご覧ください。
http://ecocap.jp/report_20151225.html
エコキャップ推進協会に直接お問い合わせください。
ご協力いただいた企業様へ感謝してまいります。法人本部までお問い合わせください。

※報告書の受領個数は推進協会の「キャップ回収実績」に、正確させていただきます

エコキャップ運動にご参加いただいている企業のCSR、SDGsの1ア一広告を掲載しています。この1ア一広告は発行費無料になります。
1ア一広告掲載料は年間30,000円～50,000円になります。
掲載させていただいた場合は、企業・団体のロゴをSNSやホームページと企業・団体のHP(URL)に移動し、企業・団体のCSR、SDGsの活動等のご紹介をします。
詳細はこちら http://ecocap.jp/csr_apply/

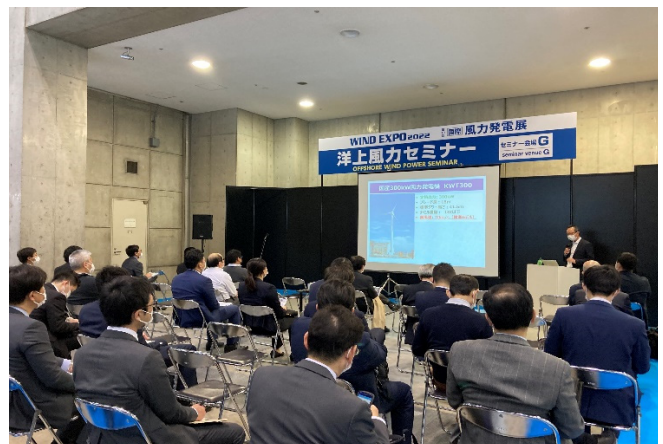
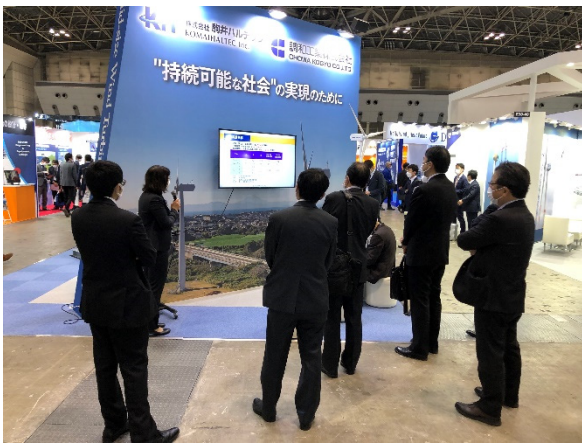
インフラ環境事業部

風力や太陽光による発電する再生可能エネルギー

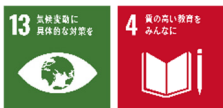


■東京ビッグサイト「WIND EXPO 春：国際風力発電展」出展

風力や太陽光による発電する再生可能エネルギーは、温室効果ガス排出削減に効果的で、脱炭素社会に欠かせないエネルギー源として注目されています。当社は、「スマートエネルギーWEEK」の一環として東京ビッグサイトで開催された国際風力発電展に出展しました。日本の厳しい気象条件や地形条件に対応できる中型風力発電機の、工場の自家消費や地域の公園での設置例など、CO2 排出量削減の効果的手段としての導入事例を紹介しました。また洋上風力セミナーで、「国産技術を活用した洋上風車向けサプライヤーへの取組み」と題して講演を行いました。それからハイポールの架台上に太陽光パネルが設置可能な「ハイポール式スカイソーラー」や柱間に渡したケーブルにパネルを吊り下げる「ケーブル式スカイソーラー」も紹介され、多くの来場者にPRをしました。



与那国島風況観測



■沖縄県与那国島で、40m高さの風況観測ポールを2基設置し、風況データを収集しています。このうちの1基の場所に

今後当社で開発中の台風仕様風車を建設します。風車建設後の風況データを用いて各種試験をするために、風車建設位置だけではなく、試験時に風況観測を行う位置の2箇所に風況観測ポールを建設しています。試験により、風車設計の妥当性および安全性を確認します。日本のみならず、大洋州など世界には風のエネルギーに恵まれながら、台風時の強風に耐えられないため風車が導入できない場所がたくさんあります。当社台風仕様風車は、それらの地域での再生可能エネルギーの活用期待されています。



太陽光発電設備（スカイソーラープロジェクト）



◎ スカイソーラーのメリット（弊社HPから抜粋）

大部分が山地である日本は平地部分が小さく、用途制限のない地域は極わずかです。そのため、多くの平面を要するメガソーラー事業に適する土地を確保しづらいのが現状です。

中村勉総合計画事務所と当社は、現状の地形や土地利用を維持しながら、上空を活用するソーラー事業を提案します。

■ ケーブル式スカイソーラー：ハイポールに張ったケーブルに、ソーラーパネルを配置した吊構造です。



2015年8月から2016年6月まで富津工場で実証試験をし、安全性が確認されたため、松戸テクニカルセンター（TC）に移設して、商業運転を開始しました。（発電電力は東京電力に売電しています）

所在地：千葉県 松戸市

形式：上空ソーラー発電システム（14.5KW）

支柱間：22.4m、支柱高：4.5m

特記事項：ケーブル懸架型空中太陽光発電装置を開発（特許取得）

■ ハイポール式スカイソーラー：等間隔に設置したハイポールに梁を通し、ソーラーパネルを配置します。



所在地：福島県 会津若松市

施主：富士電機株式会社

形式：上空ソーラー発電システム（1.3MW）

特記事項：ハイポール型太陽光発電設備架台の設計、製作、基礎工事、据付。

また積雪対策として融雪設備設置工事を実施。



橋梁建設（架設）現場での環境に対する取組



安全・環境パトロール

12 つくる責任
つなぐ責任



■橋梁架設現場は、都心部、市街地はもちろん山間部、渡河部、海岸付近など自然と共存する場所での作業が多いことから、環境保全に対して細心の注意を払って作業を進める必要があります。

当社では、建設現場関係者（現場責任者、協力会社、店社管理者、安全管理室）と連携し、作業環境の安全性並びに周辺環境への対応の適切性の確認、現場作業従事者の安全意識の高揚を目的に、安全・環境パトロールを毎月、全稼働現場にて実施しています。

2021年度も引き続き、建設現場における作業環境（騒音・振動、水質汚濁、産業廃棄物、現場特有の環境側面等）に重点を置いて、全国に点在する現場のパトロールを実施しました。



遠隔臨場システム使用



パトロール風景



遠隔映像確認



環境に対する個別取組

12 つくる責任
つなぐ責任



■騒音・振動対策、排出ガス対策

建設現場の騒音や振動の低減・防止、建設機械からの排出ガス規制の順守を図るため、低騒音・低振動タイプ、排出ガス規制適合の建設機器、重機などを選定しています。また、車両等の待機時の排出ガス抑制のために、アイドリングストップを推奨、指導しています。



オフロード法 《特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（2006.4.1施行）》

オフロード法は、建設機械等のオフロード車[※]の排出ガスを規制するため、2006年4月1日に施行されました。施行日以降に製作された新型車は、排出ガス基準を満たす基準適合表示を付したものでなければ国内では使用できません。
※オフロード車：公道を走行しないバックホウ、フォークリフト、ブルドーザー等の特定特殊自動車のことをいいます。



第3次排出ガス対策型建設機械指定制度表示（可搬式建設機械の表示）

オフロード法又は道路運送車両法により排出ガス規制を受けていない建設機械（発動発電機、小型バックホウ等）メーカーから申請、国土交通省が指定後、表示が可能。

第3次排出ガス対策型建設機械指定制度で定められた技術基準を満たす。



超低騒音型建設機械表示

「低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年建設省告示第1536号）の騒音基準値から6dB減じた値を下回る騒音の測定値を得た建設機械。



■ 静間川橋騒音対策（防音シート）



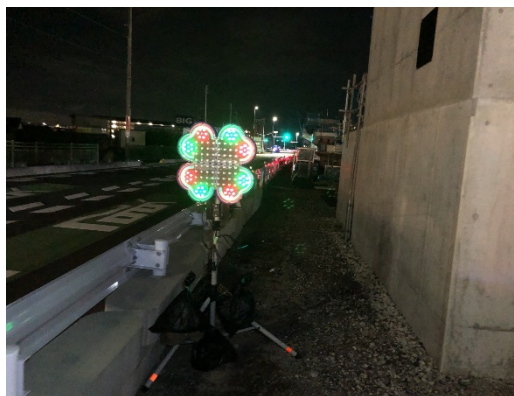
■水質汚濁防止

海、河川付近の橋梁建設現場では、海、河川等の用水路の汚染を防止するため、建設機器、重機などの日常点検・整備を実施し、油漏れ等による海、河川汚濁の防止を心掛けています。また、緊急時に備えてオイル吸着マット等を常備し、作業者に周知しています。



■ソーラーパネル電源(照明)

橋梁建設現場では、車線切り替えの夜間誘導照明の電源として、ソーラーパネルと蓄電池を用いた電源で点灯しました。



12 つくる責任
つかう責任

■産業廃棄物の分別

建設現場より発生する廃棄物は、廃棄物ごとにゴミ箱を設置し分別を徹底することで、廃棄量の削減とゴミのリサイクル資源化に努めています。



橋梁現場における地元交流

11 住み続けられる
まちづくりを

12 つくる責任
つかう責任

4 質の高い教育を
みんなに

■施工現場各地で工事見学会を開催し、地域との交流を図るとともに、施工内容への理解を深めて頂いています。



江川橋 経済産業省研修



江川橋 法政大学現場見学会



静間川橋 地元見学会



北玉垣高架橋 津工業高校現場見学会

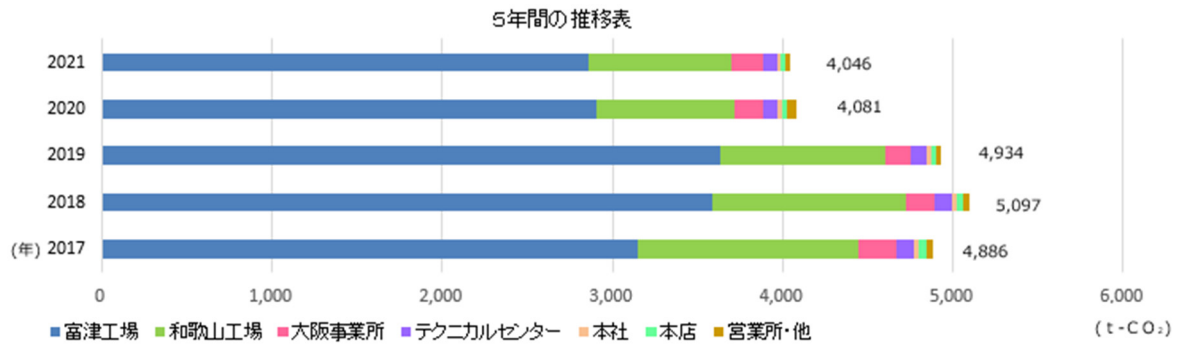


地球温暖化防止への取組

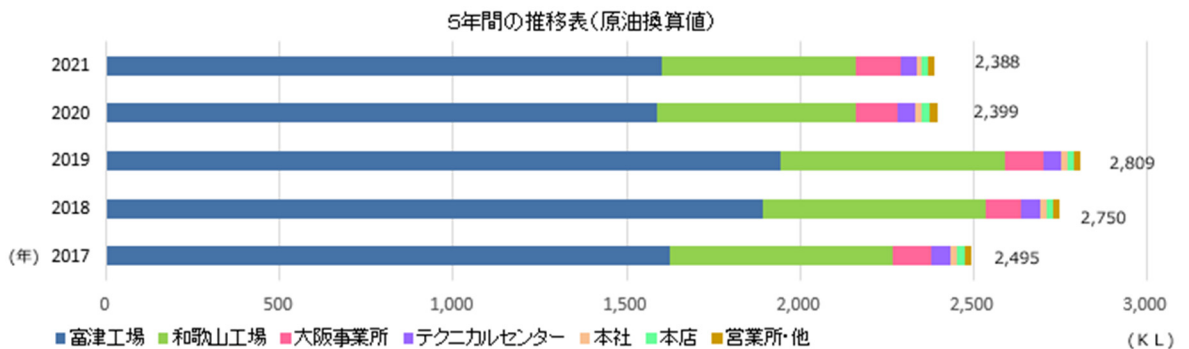
当社は、地球温暖化の原因となるCO₂排出量の削減のため、省エネルギー活動に積極的に取り組んでいます。製造工程では、ピーク電力を抑制する工程立案などさまざまな方法での効率改善化、生産設備導入の際には消費電力量の考慮等、省エネ視点での活動によりCO₂排出量の削減を図っています。



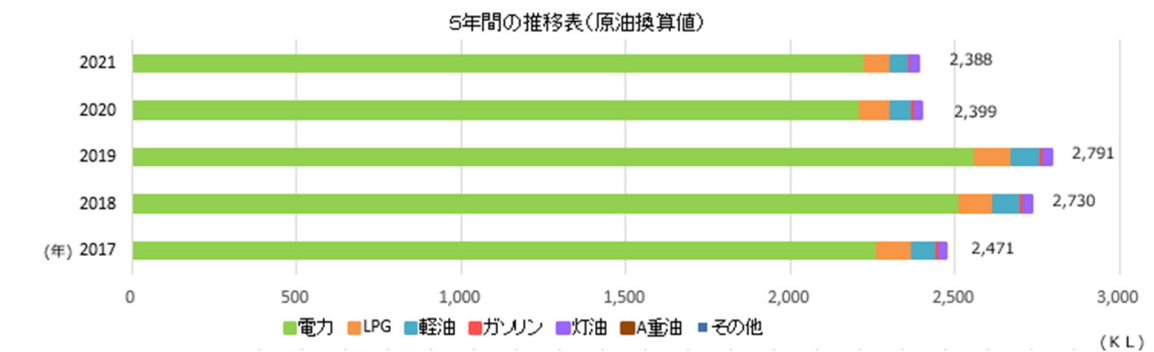
CO₂排出量の推移



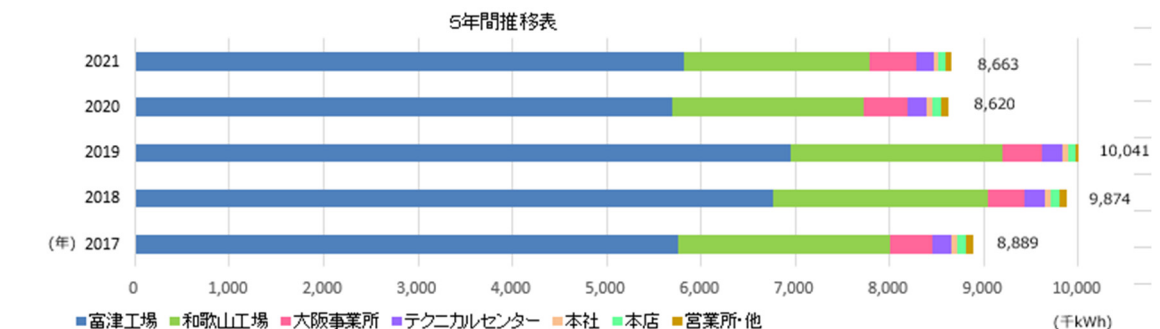
エネルギー使用量の推移



エネルギーの種類の推移



電力使用量の推移





当社は、開発する製品に対し環境負荷低減を追求しエコプロダクツ（環境配慮型製品）の開発に取り組んでいます。



パイプスラブ（鋼コンクリート合成床版）

NETIS 番号：KK-040071-V（2017.4.20 掲載期間終了）

パイプスラブは、リブ（孔明き鋼板）とパイプ（構造用鋼管）とで構成された鋼板パネルがコンクリートと一体化することにより、大きな耐力と高い耐久性を実現した「鋼コンクリート合成床版」です。

「安（安全、安心）」「新（新技術、新発想）」「短（短工期）」による建設コスト縮減も特徴ですが、その高耐久性ゆえの長寿命化により、架け替えなどの更新期間の長期化が可能となり、施工に係る環境負荷が低減できるという利点があります。

※ パイプスラブは、日本ファブテック㈱、㈱HIインフラシステムおよび当社の3社による共同開発商品です。



Rアンカー（抜取り可能なアンカーボルト）

NETIS 登録：KT-180026-A

橋梁工事では、仮設部材などを既設コンクリート構造物に固定するために、仮設アンカーボルトを埋め込むことが多くあります。一般に、仮設アンカーボルトは完全に撤去することが困難で、コンクリート構造物内部に異物として残してしまう問題がありました。

「R アンカー」は、アンカーボルトに特殊コーティングを施すことにより、使用後に完全に抜き取ることができるあと施工アンカーボルトです。「R アンカー」はコンクリートに優しく、既設インフラ構造物の持続可能性の向上に寄与できる製品です。



アロンブルコート® Z-X、Z-Y工法

NETIS 登録：CB-120013-VR

「アロンブルコート® Z-X、Z-Y工法」は、アクリルゴムを用いてコンクリート表面の剥落・劣化を防止する「コンクリート表面保護工法」で以下のような特長があります。

■ 「環境に優しい」

有機溶剤を一切含まず、オール水系材料としました。

■ 「コンクリートに優しい」

水蒸気透過性を従来以上に高め、コンクリート内部に残留している水分を発散できるようにしました。

■ 「メンテナンスが容易」

既設塗面を剥ぎ取ることなく、重ね塗りが可能です。

（剥ぎ取りの廃棄物を出さないことでECOを実現）

■ 「安価」

塗り重ね回数を6回から4回に減らし、材料及び施工面での経済的な優位性を実現しました。

※ 「アロンブルコート®Z-X、Z-Y 工法」は、東亜合成㈱と当社の共同開発商品です。

※ 文中の比較対象製品は共同開発者の東亜合成㈱の従来製品です。

※ 表面被覆材（下塗材）の内、アロンブルコート®P-300 は、グリーン購入ネットワーク(GPN)が運営する『エコ商品ねっと』に掲載されている商品です。なお、同サイトは多様な分野の環境情報を掲載し、商品選択の際に比較可能な環境データベースを公平に提供するもので、個別の掲載商品を推奨するものではありません。





会社概要



会社概要

商号 株式会社駒井ハルテック KOMAIHALTEC Inc.
 資本金 66億1,994万円
 株式上場 東京証券取引所 プライム市場
 建設業許可 国土交通大臣 許可 (特-3) 第142号
 橋梁、鉄骨、風力発電設備、その他鋼構造物の設計、製作、建設、診断、
 補修、土木・建築工事の設計・請負、風力発電機による売電事業
 ISO9001、ISO14001
<https://www.komaihaltec.co.jp/>



事業所

本社	〒110 - 8547	東京都台東区上野一丁目 19 番 10 号	TEL 03(3833)5101
本店	〒550 - 0012	大阪市西区立売堀四丁目 2 番 21 号	TEL 06(4391)0811
札幌営業所	〒060 - 0001	札幌市中央区北一条西四丁目 2 番 12 号	TEL 011(251)1605
東北営業所	〒980 - 0014	仙台市青葉区本町二丁目 1 番 29 号	TEL 022(227)8724
群馬営業所	〒370 - 0831	群馬県高崎市あら町 129 番 1 号	TEL 027(384)4863
名古屋営業所	〒460 - 0003	名古屋市中区錦二丁目 20 番 8 号	TEL 052(684)8121
和歌山営業所	〒649 - 1122	和歌山県日高郡由良町神谷 805 番 2 号	TEL 0738(65)2841
中国営業所	〒730 - 0036	広島市中区袋町 5 番 38 号	TEL 082(247)4838
九州営業所	〒812 - 0013	福岡市博多区博多駅東二丁目 4 番 17 号	TEL 092(441)3665
富津工場	〒293 - 0011	千葉県富津市新富 33 番 10 号	TEL 0439(87)7470
和歌山工場	〒649 - 1122	和歌山県日高郡由良町神谷 805 番 2 号	TEL 0738(65)1234
大阪事業所	〒555 - 0041	大阪市西淀川区中島二丁目 5 番 1 号	TEL 06(6475)2111
テクニカルセンター	〒270 - 2214	千葉県松戸市松飛台 404 番 1 号	TEL 047(387)0170



関連会社

東北鉄骨橋梁(株)

【本社】 〒980 - 0014 宮城県仙台市青葉区本町二丁目 14 番 27 号 TEL 022(221)7511

【岩沼工場】 〒989 - 2421 宮城県岩沼市下野郷字新関迎 230 番 TEL 0223(22)1611

(株)シップス 〒270 - 2214 千葉県松戸市松飛台 404 番 1 号 TEL 047(384)5281

(株)プロバンス 〒270 - 2214 千葉県松戸市松飛台 404 番 1 号 TEL 047(388)4630

KH ファシリテック(株) 〒808 - 0027 福岡県北九州市若松区北湊町 9 番 27 号 TEL 093(771)2368



KOMAIHALTEC Inc.